

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番10号
深川消防団本部
TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422



消防団長交代

就任のごあいさつ

このたび、小安動団長の退任に伴い、深川消防団長に就任致しました。尽きましては、身に余る大任ではございますが、消防団事業ならびに地域の安全安心のため力の限り努力をいたす所存でございます。

まず初めに前任者である小安前団長へお礼を述べさせて頂きます。小安前団長は、笑顔が優しく、責任感が強く、統率力があり、理想的な消防団長でした。消防団に対する強い思いや連合町会長など地域に密着した活動を行なうなど各方面での活躍はみなさんもご承知のとおりです。在任中は、各団員からの意見を親身に聞き、消防団の活動能力の向上及び活動環境改善などにご尽力されていました。私は、副団長として、団長を補佐している傍ら、指導者としての姿をご指導頂きました。本当にありがとうございます。今後とも、良きアドバイスをお願い致します。さて、深川消防団の受け持ち区域は、数年前から大きく変貌してきました。コーヒートの街清澄白河地区、豊洲市場の移転、オリンピックピックパラリンピック開催を控えている豊洲・有明地区の人口の増加及び観光客の増加等、地域の消防団として今まで以上の災害対応能力が求められています。

そのような中で深川消防団は、消防団の充実強化及び地域住民が災害に対応できるように3つの目標を推進していきます。第一に、消防団員の確保(検討委員会を立ち上げ)。第二に、消防署との連携強化及び消防団員の活動能力の向上、第三に地域の防火防災力の強化です。今後は、この3つの目標を軸に小安前団長が築き上げてきたものを引き継ぎ、地域の防災リーダーとして、一生懸命頑張って参ります。

終わりに臨み、深川消防署並びに係団体の皆様におかれましては、今後とも小安前団長同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年4月

深川消防団 団長 平山 敏夫



退任のごあいさつ



前深川消防団長
小安 勤

平成三十年三月末日を持ちまして、二期四年任期満了し退任いたしました。これまで多くの方々にご支援を賜り、感謝とお礼を申し上げます。

深川消防団在籍四十二年間の終止符を打つことに、少々肩の荷がおりたような気がします。後任には、平山敏夫団長が就任され、ミスター消防団の名のもとに深川消防団ここにありという活気あふれる消防団として期待するところです。

さて、団長在任中を顧みますと、深川富岡八幡宮例大祭を二回体験し、水かけ神輿の消防団の迫力を見させて頂きました。また私の出身の第十分団が、第三十七回深川消防団操法大会において、初優勝したことに大変感動を覚えましたこと、そして昨年東京都消防操法大会に深川代表として第二分団が出場しましたこと、記念に残る良い体験をさせて頂きました。この一月一日に第六代元団長、武藤庄一様のご逝去され、武藤様の消防団に対する思い、消防団をこよなく愛し続けたことを自分に置きかえられたらと思っております。

ご冥福をお祈り致します。終わりに、深川消防団のますますのご発展をお祈り申し上げます。

消防署定期人事異動

(平成30年4月1日付)



警防課長
消防司令長
眞中 邦彦

平成三十年四月一日付け東京消防庁定期人事異動により、警防課長を拝命致しました。

伝統ある深川消防署で勤務させて頂くことに、誇りに思うと同時に身の引き締まる思いです。

深川消防署と深川消防団の強い絆で結ばれたチームワークで、地域の皆様「安心と安全」をお届けできるよう、一生懸命頑張つて参ります。ご協力をお願い致します。

経歴

- 昭和53年4月1日 東京消防庁入庁
- 同年 板橋消防署拝命
- 昭和63年4月1日 西新井消防署
- 平成7年4月1日 品川消防署
- 平成12年4月1日 第六方面本部
- 平成19年4月1日 芝消防署
- 平成22年4月1日 第三方面本部
- 平成28年4月1日 本田消防署
- 出身 茨城県

深川消防団 補職



副団長
赤澤 光幸

平成30年3月31日、団本部の先輩方の退任に伴いまして、平成30年4月1日付で副団長に任命頂きました赤澤光幸です。改めてその重責をひしひしと感じております。

団本部にて分団長として活動してきた2年間は、あつという間に過ぎ去ってしまいました。これからは副団長として活動をしていく責務に、とても不安を感じていますが、一生懸命頑張つていく所存です。皆様のご支援ご協力の程を頂きますよう、よろしくお願い致します。



副団長
鳩貝 裕幸

この度副団長の拝命を頂き、身に余る思いです。これからは消防署と各分団のパイプ役として、また、団長の補佐役として、これまで以上に深川消防団全体を見据えて消防団活動を行つて参りたいと思っております。

団本部分団長
平山 敏博



平成30年4月1日付けを以て、団本部分団長に任命されました。

前期以上に重責を感じております。今後とも町の安全・安心に微力ではございますが、一層精進して参ります。何卒ご指導の程よろしくお願い致します。

団本部分団長
中澤 聡



本年度より、団本部の分団長を仰せつかった前4分団の中澤です。

微力ではございますが、深川消防団のために、役に立つよう頑張つてまいります。よろしく申し上げます。

団本部分団長
鈴木 常夫



消防団の目指すところは、地域に根差した組織であります。ひとたび災害が発生すれば、日々の訓練を通じた技術や能力を発揮して活動する仲間です。

これまでと同様、地域の方々と良い関係を保ちつつ、手を携えていけるようお願いしています。



第4分団長
齊藤 信行

今期より、深川消防団第4分団の分団長に成りました、斉藤信行です。伝統ある第4分団長の名を汚さないように、頑張って消防団活動を行っていきたいと思います。



第6分団長
渡邊 鉄男

平成30年4月1日付けを以て、第6分団長に任命されました渡邊です。消防団に入団して13年になります。大勢の団員の皆さんや地域住民の皆様と知り合うことができ、助けられながらも楽しくやっています。消防署職員の皆様のご指導を頂きながら、微力ではありますが、頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願致します。



第8分団長
堀川 昌裕

この度、深川消防団第8分団の分団長に任命されました、堀川昌裕と申します。諸先輩方が築き上げた「伝統ある第8分団」をしっかりと引き継ぎ、深川、東陽地区の地域防災・災害活動に責任をもって、精一杯取り組んで参る所存です。第8分団員一丸となって私たちの「ふるさと江東・深川」を全力で守っていききたいと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



第9分団長
山宮 健一

この度、第9分団長に任命されました山宮健一です。改めて分団長としての重責を感じています。第9分団地域では、枝川出張所、第9分団、16町会エダージュオの皆様とともに三位一体となり、地域防災に取り組んでおります。皆様と協力し合い、さらなる防火防災に向け、頑張っていく所存です。これまで以上のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

平成30年 深川消防団始式

今年も例年通り深川消防団始式が、江東区文化センターホールに於いて行われました。

深川消防団が今年贈呈されたばかりの新団旗に消防総監特別優良表彰を受けたのをはじめとして、各表彰が続きました。

中でも、勤続15年消防団員のご家族に消防署長感謝状が贈られたことが印象的でした。長年消防団員の任務を務めるわたしたちを支えてくれる家族に感謝の意を表して頂いたことは、われわれ消防団員にとって大変な励みになります。

また昨年度入団された新入団員決意宣言では、消防団に入団された方々の力強い気持ちがあふれていました。

(第8分団 庄井編集委員)



文化財防火デー

平成30年1月26日(金)文化財防火デーに伴う消防演習が、東京海洋大学で行われました。消防演習は、大学構内にある明治丸からの出火を想定し、初期消火及び119番通報後に、深川消防署、第5分団及び第6分団による一斉放水を実施しました。

明治丸は、明治7年に、明治政府がイギリスネピア造船所に発注を依頼した船になります。翌年、明治8年に明治丸の回航が開始されました。その後明治29年に商船大学(現東京海洋大学)に譲渡され、昭和20年まで練習船として活躍し、昭和53年に船としては初めての、国の重要文化財に指定されました。

(分団長 平山編集委員)



消防団募集広報活動

深川消防団の定員は290名ですが、現在244名となり毎年減少しています。また、高齢化も進む現在、将来を見据えて若い方に入団してもらおうと考え、今回の成人式で消防団員の募集活動をすることにしました。正服と正帽を身にまとい募集活動を行うと、成人を迎えた若者には少しとまどいがあるように見えました。我々の話を聞いてくれました。懸命な活動により、一名の入団が決まり、大きな成果を上げました。

(第7分団 藤田編集委員)



体力錬成会

平成30年2月18日に体力錬成の一環として、タグラグビー大会が枝川小学校で開催されました。初めてタグラグビーをやる方が多いということで、(公財)日本ラグビーフットボール協会の皆様にご協力を頂き、試合運営やゲーム説明などをご指導を頂きました。

また、明治学院大学ラグビー部の皆様にもサポートして頂きながら、皆初めてやるタグラグビーに、身を乗り出して参加していただきました。タグラグビーという危ない?というイメージがあるようですが、現在では、小学校で体育の授業の一環としても行われているスポーツです。最初に、ラグビー部員の方とラグビーボールを使ったパス回しの練習をして、ゲームのルール説明を受けた後、いよいよ試合が始まりました。皆始めは戸惑いながらも、試合が始まるとコートいっぱいになり、横並びにパスの連携を見せたり、ボールを持ったら真つしぐらにゴールを目指す人がいたり、子供たちは大人相手にすばしっこく人の間をかいくぐりゴールを決めたりと、皆タグラグビーに慣れるに連れて会場は熱気に包まれました。

ラグビーの精神!「One for all, All for one」自己犠牲の精神は、消防団

としてのチームワークを高める機会にもなったのではないのでしょうか。怪我をする人もなく、無事に全試合を終えることができたのは、士気高揚委員会運営の皆様のおかげです。本当にお疲れ様でした。来年は、ラグビーワールドカップも日本で行われます。今回のタグラグビーを機会に、皆で試合を見に行つて見るのも楽しいかも?

(第9分団 岩淵編集委員)



元消防団長 武藤庄一様
お別れ会

今年の消防団始式、我ら第5分団出身でもあり、第6代消防団長でもある、ムトウユニパック会長の武藤庄一さんの姿はありませんでした。

当日私は来賓対応をしていました。消防団始式が始まってしばらくしてから会場に入った私は、来賓控室で武藤さんにお会いできなかった理由を知らないまま、武典の最後を迎えました。武藤さんが元旦に亡くなられたことを私が知ったのは、後になってからのことでした。

武藤さんは戦争を経験され、終戦後にムトウユニパックという紙製品の製造販売の会社を立ち上げ、社長として活躍されていました。

そして、深川消防団での活動は勿論、図書館への図書の寄贈等々、往年社会への貢献も活発にされていた方です。私は、第5分団に入団して武藤さんのことを知り、年に数回の消防団の行事や訓練の激励に来て下さった際にご挨拶する位でしかお会いする機会はありませんでした。

平成三十年二月十日、ホテルイースト21東京で執り行われました武藤さんのお別れ会。こちらの会には、消防団関係者、ムトウユニパック社員の方々に始めとした大勢の方が参列し、各々

が武藤さんにお別れしていました。お別れ会で流れた武藤さんの人生を振り返る映像を見て初めて、私は武藤さんの人柄やこれまでの人生と功績を知ることができました。お恥ずかしい話ですが・・・

毎年、各団との交流を深めるため行われている、私の大好きな「体力錬成会」も武藤さんによって始められたことでした。武藤さんのおかげで毎年楽しませてもらっていたんだな、と思いました。そして、第5分団にはムトウユニパックの社員の方も所属しています。とても大きな存在です。この他にも、武藤さん

がこれまで尽力されてきたことを無駄にしない様、私たちは良い伝統を守りつつ今後も努力しなければならぬ、と思っていました。

(第5分団 梅内編集委員)



女性消防団員・新入団員教育訓練

平成30年3月11日に深川消防署において、女性消防団員と新入団員の教育訓練が行われました。普段は、女性団

員や新人団員だけで訓練をするという機会はあまりなく、今回の訓練は貴重な体験となりました。

訓練内容は座学と実践訓練に分けて行われます。始めに、「消防団員ハンドブック」を使って座学を行いました。内容は消防団という組織について学び、さらに消防団員としての任務と服務について学びました。



実践訓練では、規律訓練を行った後、消火器やスタンドパイプを使った指導要領や放水訓練を行いました。訓練中に敬礼する姿はビシッとしています。どこか和やかな雰囲気を感じるの女性団員ならではのようです。

全ての訓練が終わわり、皆で今日の感想を話し合いました。

「人前で号令をかけたり、話しをするという経験は初めてのことで、とても緊張しましたが、先輩方を見習って私たちも頑張っていきたいと思います」といった積極的な意見が飛び交いました。

最後に、お忙しい中深川消防署の皆様や消防団本部の皆様には、このような機会を設けて頂いたことに、女性消防団員及び新入団員一同感謝しております。ありがとうございました。

(第9分団 岩淵編集委員)

ファイアープラザ
inふかがわ2018

平成30年3月3日に深川ギャザリアにおいて、ファイアープラザinふかがわ2018が行われました。午前中はAEDを使った応急救護訓練、初期消火体験、ミニ防火衣試着や煙体験ハウスなど、様々な体験をすることが出来ます。中でも一番人気はやっぱり、はしご車の体験搭乗！はしご車には隊員の方が一緒にいてくれるので、体験搭乗は大人2人まで乗れます。小さなお子さんは安全管理を徹底して一緒に乗るのですが、やっぱり小さなお子さんは高いところが怖くて大泣きされてしまいました。

最後に行われる消防演習は、消防隊、災害時支援ボランティアの皆様と消防団合同での演習となります。この演習を締めくくる一斉放水を以て、「ファイアープラザin深川2018」は大成功となりました。



(第7分団 藤田編集委員)



東京マラソン 消防特別警戒



平成30年2月25日、東京マラソン2018が開催されました。コースが変更されて深川エリアをランナーが走るようになって2回目の今年、生憎の曇り空が広がりしましたが、ランナーにとっては走りやすく、沿道のサポーターにとっては少し肌寒く感じる大会だったのではないのでしょうか。

深川消防団は、深川消防署と連携し東京マラソンの消防特別警戒を実施しました。今年も東京消防庁の消防総監も深川地区へ激励に訪問され、消防団も警戒に一層の力が入りました。特別警戒の現地警戒本部は、富岡一丁目交差点、深川一丁目交差点、清澄公園、深川第三分団本部の合計4カ所に設置しました。警戒は、団本部、第3分団、第4分団、第5分団及び第6分団の合計50名を動員して、沿道や道路上での急病人が発生しないように、また、発生時には早期対応ができる体制を確保し、警戒を実施しました。

私たち消防団の他にも多くの関係者が東京マラソンの警戒や運営にあたりました。警察、東京マラソンの運営スタッフや多くのボランティアスタッフが集まり、無事大会が終了する様、影ながらエールを送りつつも見守っていました。マラソン大会中は、怪我や不調を訴えるランナーがいたり、倒れて心肺停止状態になった現場に、第3分団が森下駅の駅員及び消防職員と連携

して活躍をしました。

今年は、以前にも増して外国人ランナーや観客が多かったようにも思えました。外国人ランナーの方が、アイシングをしたいとスタッフに訴えている姿を見かけましたが、なかなか言葉が通じていないようでした。これからは東京オリンピックに向け、ますます外国から日本に遊びに来る人が増えると思われ、防災活動の現場でも英会話の必要性を感じた一日でした。今年の2018年の活動内容に、英語の消防講習というものがありません。

私たち消防団も国際化していく日本社会において、英会話でも対応できる消防団員を目指して、2年後のオリンピックにも対応していけるようにと、期待が高まる今日この頃です。

(第3分団 中島編集委員)
(第5分団 梅内編集委員)
(第6分団 高野編集委員)



消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<http://www.teisoh.co.jp/> E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 帝国倉庫
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所

株式会社 **ムトウスニパック**

代表取締役 社長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)

<http://www.mutoh-u.co.jp/>

支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
板本・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

節分祭消防特別警戒

平成30年2月3日

◆ 洲崎神社

第7分団管轄区域の洲崎神社で節分祭が行われました。毎年お菓子がいっぱい撒かれるため、今年も子供の参加者が半数以上を占めています。小学生以下のお子さんも多く、いざ節分祭が始まると、皆夢中になってしまっています。揉みくちやになって将棋倒しになってしまうことのないように、消防団は皆が怪我しないように警戒に当たります。怪我をする人もなく、今年も無事節分祭を終了することができました。

(第7分団 藤田編集委員)

◆ 深川不動堂

第5分団は深川不動堂での豆まき警戒警備にあたりました。あいにくの曇り空でしたが、敷地内には多くの方々が見守り、豆拾いのための袋を用意し、待つていました。いざ節分祭がスタートすると小さなお子さんからお年寄りまで共に必死になってしまおうのが、イベントあるあるなのでこちらも気は抜けません。また、豆まきエリア外も含め怪我等しい何事もなく節分祭を終えることができました。皆さんは、新しい季節に向けて、沢山の福を呼び寄せられたのではないのでしょうか。

(第5分団 梅内編集委員)

◆ 深川神明宮

深川神明宮で行われた節分祭に、第3分団は警戒活動を行いました。土曜日ということもあり、節分祭には大変多くの方が参加されていました。いざ節分祭が始まると、みかんが私に向かって飛んでくるほど盛り上がりつつありますが、怪我をされた人もなく、節分祭の警戒を無事迎えることができました。

(第3分団 中島編集委員)



要配慮者による避難訓練

平成30年3月6日塩浜一丁目町会において、要配慮者と合同の避難訓練が行われました。平日の昼間、子供やお年寄り、災害が起きた時に自分自身の力だけで避難することは難しいことがあります。今回、合同訓練を行った介護福祉施設「こころの家族」「江東区塩浜保育園」「聖華塩浜保育園」には、災害が起きた時に支援を必要とする、多くの要配慮者がいます。

災害が起きた時、近隣で互いに助け合う共助の力というのは、大きな力となります。そのためには、普段から自分の住む地域には、どんな人が住んでいるかを知っておくことが大切なことです。今回の訓練は、地域の防災リーダーである、消防団と地域が中心になって避難訓練が行われました。中でも経験があまりない新人団員も、目覚ましい活躍を見せる訓練となり、他にも、はしご車の搭乗体験、煙体験や地震車の体験なども行われました。

今回の訓練を通じて、私たち消防団も、どのように災害に対応していくべきなのかを考えていく良い機会となりました。

今回ご協力を頂きました塩浜一丁目町会災害協力隊、株式会社テツソー、高瀬物産株式会社、アサガミプレスセンター株式会社の皆様と協力しあい、これからも安心できる街づくりを目指していこうと思えます。

(第9分団 岩淵編集委員)



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

East 21 ホテル イースト21東京
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

元副団長岡本氏 叙勲祝賀会

去る三月十四日、元深川消防団副団長の岡本繁氏の瑞宝単光章受章を祝う会が、ホテルイースト21東京で行われました。

岡本さんは、昭和四十四年に入団、平成十八年に第4分団の分団長、平成二十二年に副団長に就任、平成二十八年三月に退団するまで、四十七年の長きに渡り、深川の安心安全と後輩の指導にご尽力されました。

人柄の良い岡本さんの功績を祝福しようと、深川消防署の歴代署長、深川消防団友の会、第4分団管内の各町会長、富岡八幡宮神輿総代連合会、第4



分団員など、総勢百三十余名もの方々が出席しました。

乾杯前の式典では、消防関係者や議員の先生方の祝辞、記念品の贈呈、お孫さんからの花束贈呈に続き、岡本さんより謝辞があり乾杯。祝宴では、葵太鼓の演奏、第4分団・白河一丁目の出し物、シンガーソングライターの櫻さんの歌を聞き、盛大に執り行われました。

(第4分団 正本編集員)

深川消防団退団者

団本部	副団長	小安 勤
団本部	副団長	志村 光一
団本部	副団長	菊池 哲
団本部	副団長	渡邊 美憲
団本部	副団長	原田 浩吉
第1分団	班長	松本 貴好
第2分団	班長	坂本 智行
第3分団	班長	大野 碧波
第3分団	副分団長	上岡 文雄
第4分団	副分団長	宮田 英美
第4分団	副分団長	田中 正二
第4分団	副分団長	中村 義彦
第7分団	副分団長	水島 雄平
第8分団	副分団長	三浦 聖史
第9分団	副分団長	下村 勝一
第9分団	副分団長	山浦 信幸
第10分団	副分団長	中島 宏治
第10分団	副分団長	福島 昌実

表彰者の紹介

- ◆瑞宝単光章 元分団長 小材 一利
- ◆消防庁長官章 元副団長 菊池 哲
- ◆日本消防協会定例表彰(功績章) 第1分団 分団長 志村 保司
- ◆東京都消防協会定例表彰(功労表彰) 第5分団 分団長 植原 信義
- 第8分団 副分団長 庄井 勤
- ◆東京都消防協会定例表彰(優良表彰) 第2分団 副分団長 飯田 英貴
- 第6分団 副分団長 杉山 修一
- 第6分団 副分団長 長谷川惠津子
- 第8分団 副分団長 堀川 昌裕
- 第9分団 副分団長 山宮 健一
- 第2分団 副分団長 天満屋 昌一

消防署の指導者紹介

- 警防課
- 眞中 警防課長
 - 消防団担当・庶務担当 東(がし) 防災安全係長
 - 奥村 消防団担当主任
 - 川村 消防団担当副主任
 - 鈴木 非常勤
 - 一部(消防団点検・装備担当) 内田 主任
 - 二部(消防団始式・入退団担当) 杉本 主任
 - 川田 副主任
 - 横田 副主任
 - 三部(消防操法大会訓練担当) 坂西 主任

さきもり編集委員

分団名	任	務	職	名	氏
団本部	監	修	団長	平山	敏夫
団本部	編集委員長	副	団長	椎名	貞雄
団本部	編集委員補佐	副	団長	赤澤	光幸
団本部	編集責任者	分	団長	中澤	聡
第1分団	委	員	班長	宮島	慎一
第2分団	委	員	班長	今井	寛隆
第3分団	委	員	班長	中島	沙江子
第4分団	委	員	班長	正本	光生
第5分団	委	員	班長	梅内	美園
第6分団	委	員	班長	高野	俊勝
第7分団	委	員	班長	藤田	享子
第8分団	委	員	副分団長	庄井	勤
第9分団	委	員	副分団長	岩淵	初美
第10分団	委	員	副分団長	榎山	美恵子

編集後記

先日亡くなられました武藤庄一さんは、私が入団した時の団長でした。ご冥福をお祈りすると共に、深川消防団をより一層発展させる事で、恩返しをしたいと思

います。消防団員も高齢化が進んでおり、二十代・三十代の若い力が不足しており、特に臨海部では、人数不足が深刻な状況です。普段の災害や、開催まで二年余りに迫ったオリンピック・パラリンピックの警備を万全にするためにも、是非、若い方の入団をお待ちしております。

(第4分団 正本編集委員)